

知ってますか？たばこの害

「たばこ」が原因で死亡する人は、日本では、12~13万人といわれています。

なぜ、たばこを吸うとやめられなくなるのでしょうか？

それは、たばこに含まれるニコチンが麻薬と同じように働き、やめたくてもやめられない依存症を引き起こすからです。



煙の中のワル者トリオ

たばこの煙には、約4,000種類の化学物質があり、体に害のある物質が200種類、がんの発生に関わる物質が約60種類も含まれています。

三大有害物質

タール

発がん性物質を含む。
肺やいろいろな場所で
がんを作る。

ニコチン

依存症を引き起こす。
血管を収縮させ、血液の
流れを悪くする。

一酸化炭素

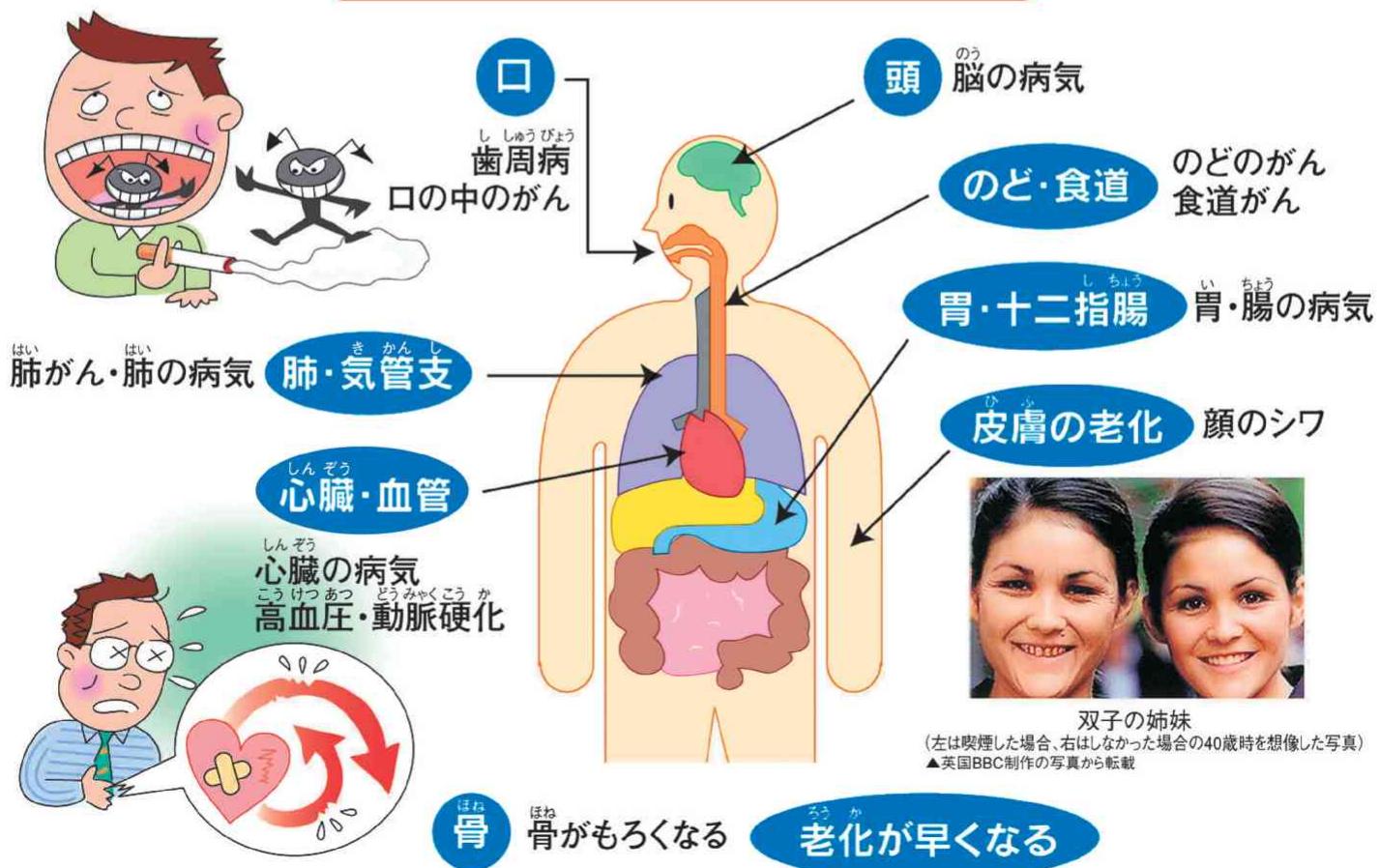
体の中の酸素を足りない
状態にし、体の動きを
悪くする。

未成年がたばこを吸うと…

- ・大人になったら、
がんになりやすくなる
- ・身長がのびなくなる
- ・思考力や集中力が落ちる

たばこは病気のもと

たばこはいろいろな病気の原因になります。



(左は喫煙した場合、右はしなかった場合の40歳時を想像した写真)
▲英国BBC制作の写真から転載